

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ①車両運搬具 定額法によっている。
- ②什器備品 定額法によっている。
- ③リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金 自己都合による期末退職金の要支給額を積み立てている。
- ②賞与引当金 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上している。
- ③貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等合理的な基準により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,248,983	806,133	0	4,055,116
減価償却引当資産	8,466,527	157,206	0	8,623,733
財政運営資金積立資産	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	31,715,510	963,339	0	32,678,849
合 計	41,715,510	963,339	0	42,678,849

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,055,116	(0)	(0)	(4,055,116)
減価償却引当資産	8,623,733	(0)	(8,623,733)	(0)
財政運営資金積立資産	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小 計	32,678,849	(0)	(28,623,733)	(4,055,116)
合 計	42,678,849	(10,000,000)	(28,623,733)	(4,055,116)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,595,842	5,595,836	6
什器備品	1,449,750	1,025,559	424,191
リース資産	12,936,000	1,509,200	11,426,800
合 計	19,981,592	8,130,595	11,850,997

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
助成交付金	船橋市	0	41,032,104	41,032,104	0	—
特定退職金	船橋市	0	156,660	156,660	0	—
共済掛金補助金	船橋市	0	100,000	100,000	0	—
エネルギー料金高 騰対策補助金	船橋市	0	100,000	100,000	0	—
高年齢者就業機会 確保事業費等補助金 (シルバー人材センター事業)	千葉県シルバー 人材センター 連合会	0	16,181,000	16,181,000	0	—
健康診断等助成金	船橋市中小企業 勤労者福祉サビス センター	0	16,300	16,300	0	—
合 計		0	57,486,064	57,486,064	0	

6. 固定負債の増減額及びその残高

固定負債の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
固定負債				
退職給付引当金	3,248,983	806,133	0	4,055,116
合 計	3,248,983	806,133	0	4,055,116